

2004-2005



岐阜中週報

会長 田邊雅範
 幹事 中山章
 発行者 ウェブ委員会
 委員長 大島康之
 例会 毎週火曜日 12時30分
 会場 岐阜ルネッサンスホテル
 事務局 岐阜市神田町 2-2
 電話 264-9235 番

平成 16 年 10 月 5 日(火)
 第 586 号
 第 663 回例会

CELEBRATE ROTARY

ロータリーを祝おう R.I.会長 グレン E.エステス シニア

会長挨拶

会長 田邊雅範

本日の例会は、親睦活動委員会のお世話による「観月夜間例会」です。色々な趣向があるようですが、楽しみにしております。

「お月見」は旧暦の8月15日にお団子やお餅、ススキ、サトイモなどをお供えして、月を眺める行事ですが、そのルーツは中国のようだとのことです。中国では月見の日にサトイモを食べることから、サトイモの収穫祭であったろうと言われていました。日本には奈良から平安時代に伝わったようです。

日本では、旧暦の8月15日に「中秋の名月」、「十五夜」、「芋名月」として月を觀賞するほかに9月13日にも「十三夜」、「後の月」、「栗名月」として月見をする風習もあり、このときには団子の他に栗や枝豆も供えるようです。また日本各地には、「十五夜

をしたら、必ず十三夜もしなければいけない」というように、片見月を嫌う風習があったとのこと。なお、ルーツである中国には「十三夜」の風習はないとのこと。

今年の十五夜と十三夜は9月28日と10月26日で、十五夜はまさに今夜です。また、満月はその年により15日から前後2日ずつくらい変動があるようですが、今年は今夜が満月です。

月見の風習も各地で異なっているようですが、我がクラブでの今年の月見の宴は、団子をたべながら花をめで余興を楽しむといった風情でしょうか。団子といえば地域によっては子供たちが盗み食いし、多く盗まれたほうが縁起がよいとされる場所もあるようです。今夜はお世話いただいた親睦活動委員会の方により多くの幸をもたらすべく、せいぜい団子の盗み食いをしてください。

幹事報告

幹事 中山章

新入会員中島辰雄さんが確定致しました。会則により、理事会、アグレマンの発送と続き全会員の受諾を受けました。獲得の為に奔走戴いた加納会員に感謝を申し上げたいと思います。

来週は平野病院にて外部健康診断です。12時30分より医師の説明がありますのでそれまでに検診(採血、血圧測定)を済ませて下さい。なお、昼食は近くの店「喜久屋」さんでとりませう。



前例会の記録

平成16年9月28日(火)

[点鐘] 18時00分

[ソング]

[ゲスト]

[ビジター]

[出席率] 会員総数 40名

(出席免除0名、猶予0名)

本日出席 27名 67.5%

[行事] 『観月夜間例会』

担当 親睦活動委員会

本日の予定

第663回

平成16年10月5日(火)

[行事] 健康診断

担当 出席委員会

次回予定

第664回

平成16年10月12日(火)

[点鐘] 12時30分

[行事] 卓話 岐阜歴史博物館

学芸員 眞真理子様

『奥平信昌と加納城』

担当 会員選考委員会

駒之段

平家物語「小督の事」に據ったもので、高倉院の御寵愛を得ていた小督局は、中宮が大政大臣の女であったので、その勢威を憚り、姿を隠してしまつた。院は御欺きの余り嵯峨野の辺に居るらしい小督局の行方を尋ねさせる為に、勅使を彈正大弼仲国の處に遣はされ、仲国は勅を奉じて、帝の御馬に跨つて急いで出かける……中人

「嵯峨に隠れ住んで居る小督は、折からの八月十五夜に琴を弾んじて心を慰めてみたが、その想夫恋にの曲によつて、彼方此方を尋ね廻つていたが仲国がそれと知り、会つまいとするのをやつと内に入れてもらひ、院の御文を渡して返事を告い、小督が涙ながらに御文を渡して返事を受け取つて帰るつとすると、小督は名残を惜しんで酒を勧め、仲国は舞を舞つて小督を慰めた後、駒に跨つて帰つて行く物語です。」
「が駒の段です。帝の寵愛を受けた美姫の行方を捜しに、月明かりに駒をかる風流譚です。」



岐阜中ロータリークラブ観月例会

川柳俳句なぞかけ短文集

お題 『月』

- 1 田舎道 父の背中で月を見る
家に着いても 月は追いかけて
- 2 月を見て うさぎを信じ 幼き日
今日の我が子 影しか見えぬ
- 3 満月が 取り持つ例会 友集い
親睦のお役 ありがたきかな
- 4 お月様 夜の環境 監視かな
満月や 今夜は携帯 切つておく
- 5 【最優秀賞】
6 毛が落ちる リアップ塗つても
また落ちる おぼろ月が まんまる月に
- 7 中高年のダイエット 成果も上がらず
下弦の月
- 8 【佳作】
月下美人 朝の姿に 色香なし
- 9 左阿弥より 京の夜空を 眺むれば
上弦の月と 半玉の紅にかさね
- 10 ヨン様と すすきもそなえず お月様
オバタリアンの春川まiori
- 11 風清き 川面にうつる 三五の月
- 12 楼台に 登りて仰ぐ 峰の月
- 13 山の端を 仰ぎ見るかな 今日の月
- 14 今日の月 古城に出てて 仰ぎ見る
- 15 台風に 月隠れるも 月見酒
- 16 お月様 浅間の煙に かくれんぼ
- 17 彼岸花 暑さ続きに はや自覚め
- 18 夜半の風 乱れて割れし 水の月

【優秀賞】

- 19 月々に 来ずにあわてる 月のもの
- 20 月とかけて 『宝くじ』ととく
その心は 『ぼつず』
- 21 月とかけて 『透明人間』ととく
その心は 『夜の月』という言葉があるが
そんなものは見えない
- 22 月とかけて 『サンゴ』ととく
その心は 『どっちも十五や』
- 23 月とかけて 『お店が終わったら、あそこに行くから待つてね』
と言って指した時計台』ととく
その心は 『ススキの（ススキ）』
向つて輝いています
- 24 月とかけて
『にわかダイエット』ととく
その心は 『細くなったり 丸くなったり』
- 25 月とかけて 『ため息』ととく
その心は 『暗くなると出ます』
- 26 友人と 観月の夜 言い酒

【特別賞】

- 38 満月とかけて 『ギャンブル』ととく
その心は 『かけてなくなります』

